



TITLE:

非平衡定常状態の研究

AUTHOR(S):

CITATION:

非平衡定常状態の研究. 物性研究 1974, 22(5): 505-505

ISSUE DATE:

1974-08-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/88833>

RIGHT:

科研費「物性の制御」班研究会報告

“ 非 平 衡 定 常 状 態 の 研 究 ”

以下は去る3月20, 21の2日間京都の関西セミナーハウスにおける上記テーマについての研究会報告の一部である。これは基研の研究会ではないので研究会報告を出す義務はないのであるが最近我国でこの分野への関心が高まりつつある折から講演者には報告を出して戴くようお願いした。御多忙中原稿を寄せていただいた方々には特にお礼を申し上げたいと思います。以下に掲載されなかった講演は；森肇氏，非平衡状態のQ展開とscale変換；西川恭治氏，Coupled Propagators of Electron Wave and Ion Wave Solitons変換；豊沢晃氏，多電子正孔系の凝縮と相転移；山口昌哉氏，或る非線型偏微分方程式系について，とくに

$$\frac{\partial u_i}{\partial t} = d_i \frac{\partial^2 u_i}{\partial x^2} + p_i \frac{\partial u_i}{\partial x} + \sum_{jk} a_{jk}^i u_j u_k$$

について；久保亮五氏；Nonlinear dissipationにおけるdissipation function,であった。